

哲学・思想研究科

学生の確保 (人)	年次	定員	志願者		受験者		合格者	入学者	
			学内	学外	学内	学外		学内	学外
1年次	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	※ (—)	—	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)
3年次 編入学	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	※ (若干名)	—	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)	※ (—)
学位授与数 (人)	博士課程修了				論文博士		博士課程修士		
	修了年次定員		修了者数		授与数		授与数		
	6 (6)		2 (—)		1 (—)		— (1)		
学生の研究活動 (件)	論文・著書発表数			学会発表数			受賞・表彰等		
	18 (18)			9 (22)			— (—)		
学生の進路 (人)		教員	企業	公務員	研究員 (学術振興会)	その他			
	修了者	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	2 (—)			
	退学者	1 (—)	1 (—)	— (—)	— (—)	1 (—)			

・「学位授与数」の欄の「博士課程修士」は、中間評価の合格者数を示す。

・() は前年度の数値を、※は外国人留学生を内数で示す。

1 哲学・思想研究科の活動

文系大学院改組3年目に入り、本哲学・思想研究科は研究科として4年次以上の学生が対象となった。本年度は課程修了者が2人、課程修了期間に間に合わなかったが退学後の学位取得者1人に学位授与を行った。課程修了者の大部分は研究職に就く予定であり、本研究科最後の一年に向けてよい方向で進んでいる。

2 教員の教育業績評価の状況

教育業績評価として①課程修了者数②学術振興会特別研究員数③中間評価指数を指標とする。

① 課程修了者2名

② 現在旧研究科において特別研究員(DC2)2人が採用され、継続中である。

③ 中間評価論文提出該当者は無し。

3 自己評価と課題

昨年度の課程修了者がゼロであったのに比して、本年度は2人を出し、課程修了には間に合わなかったが退学後の学位取得者1人を出すことができた。特別研究員の新採用を出すことができなかったが、16年度には何人かの採用を期したい。